

らくわだより

残暑を
のいきる号

このたびの停滞前線がもたらした大雨や土砂災害の被害に遭われた方に心からお見舞い申し上げ、一日も早い復興をご祈念いたします。

大雨の中の通所

らくわでは、毎日決まった時間に自力で通所することも就労に向けた訓練の1つととらえています。安定して通所できれば、生活リズムが身につく、就労後の通勤も可能になります。そんな中、8/14～8/15の大雨により、山科・大津市内の交通機関や道路が浸水や土砂崩れのため乱れました。その影響は8/16の月曜日にもおよび、列車の運休や道路の通行止めとなりました。

利用者さんの中には他の手段を使って時間前に通所できた方、遅れてでも通所された方、大事をとって休まれた方など、三者三様でした。

昨今の雨の降り方は身の危険すら感じることもあり、自分の命を守る行動が最優先ですが、いつも使っている交通機関が止まっても、自分で他の手段を調べて、通うことも就労する上で大事なため、就労移行講座でもお伝えしたいと思います。



抗原検査を行いました

新型コロナウイルス感染症の感染リスクがある方を早期に発見し、事業所での感染拡大(クラスター)を防止するために、大津市より抗原検査キットをいただき、2週間に1回、看護師(洛和会京都健診センターより派遣)による検査を行いました。2回目となった8/30は利用者さんと職員の合計13名が検査を受けま

した。鼻から綿棒を入れられる際、看護師が利用者さんに優しく声をかけていただいたことで「怖くなかった」と安心して検査を行うことができました。結果は1回目に続き、全員陰性でした。これからも感染対策を行い、安心して利用できるようにしてまいります。



(上)全員が陰性を示す「Control」のみにラインが出現



ワクチン接種の疑問や不安解消のために

らくわから就労を目指す利用者の平均年齢は20.2歳です(8/20現在)。若い世代の方に新型コロナワクチンに関する正しい知識と情報をもって、事業所内のワクチン接種を促進するために洛和会音羽病院感染症科の井村先生による動画を視聴しました。

視聴された利用者からは「副反応で後遺症に残るのは極めてまれ、と聞いて安心した」「ネットでは、RNAを打ったら自分のDNAが組み換えられてしまうと思い込んでいたが、先生が自分のDNAに入り込むことはない、安心してくださーいと言ってくださったのでよかった」という声があがりました。

※視聴日 8月20日

